



2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月13日

上場会社名 株式会社サニーサイドアップグループ 上場取引所 東
コード番号 2180 URL <https://ssug.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 次原 悦子
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 大竹 貴也 TEL 03-6894-3233
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満切捨て

1. 2024年6月期第3四半期の連結業績（2023年7月1日～2024年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	13,663	△2.5	1,505	34.3	1,535	32.5	959	42.4
2023年6月期第3四半期	14,007	15.8	1,120	34.6	1,158	△13.5	673	△15.0

（注）包括利益 2024年6月期第3四半期 877百万円（7.9%） 2023年6月期第3四半期 813百万円（4.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	64.29	64.19
2023年6月期第3四半期	45.13	-

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	8,164	4,298	50.7
2023年6月期	8,595	3,728	41.4

（参考）自己資本 2024年6月期第3四半期 4,141百万円 2023年6月期 3,561百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	-	0.00	-	15.00	15.00
2024年6月期	-	5.00	-	-	-
2024年6月期（予想）	-	-	-	15.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	10.8	1,560	20.3	1,540	15.3	930	5.1	62.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年6月期3Q	15,197,400株	2023年6月期	15,191,600株
2024年6月期3Q	277,456株	2023年6月期	277,456株
2024年6月期3Q	14,916,882株	2023年6月期3Q	14,923,020株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意点)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当資料は2024年5月13日(月)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報)	10
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年7月1日～2024年3月31日）における当社グループは、PRを軸に、グループシナジーを創出しながら、コミュニケーションに係るソリューションを幅広く提供してまいりました。

中長期的な企業価値の向上を目指す当社グループは、成長の加速と経営効率改善の双方を実現するため、㈱サニーサイドアップを存続会社とする連結子会社3社間の吸収合併を実施し、2023年7月1日を効力発生日として㈱スクランブルを、9月1日を効力発生日として㈱ワイズインテグレーションを合併しました。吸収合併完了後、組織改編と部門間連携強化を目的とするオフィス改装を行い、統合効果の最大化に向けた活動を本格化させました。

また、中長期経営方針に掲げる「人的資本経営ガイドライン」に沿って、①女性活躍の推進、②教育投資の拡充、③エンゲージメントの向上に取り組むなか、多様なライフスタイルを支える独自の福利厚生制度や女性の社会的課題の解決を目指す啓発活動が評価され、東京都主催の「令和5年度東京都女性活躍推進大賞」を受賞しました。国際連合が定める3月8日の国際女性デーに際しては、対外的な啓発活動を継続的に行いながら、従業員を対象に健康意識を高めるためのキャンペーンを展開しました。

当社グループでは、成長への事業ポートフォリオ構築に向けて、ブランドコミュニケーション事業を基幹事業と位置づけ、その強化を図りました。活発化する企業のマーケティング活動が追い風となり、食品・飲料のほか、コスメ・ファッション、商業施設・ホテルの開業に係るPRを順調に受注しました。施設関連のPRにつきましては、都心の大型複合施設の開業に加え、インバウンド需要の高まりを背景に、東京・大阪のみならず、札幌・福岡等の広域中心都市でもホテルの開業が相次ぎ、受注機会が広がりを見せました。さらに、官公庁や地方自治体とともに地域の観光や文化振興支援等に携わってきた知見を活かして、㈱サニーサイドアップで発足した「地方創生ユニット」が本格稼働し、食や観光資源の魅力を伝えるPRやコンサルティングを受注しました。

売上高につきましては、ブランドコミュニケーション事業のうち、販促施策・商品企画の受注変動の影響により、第2四半期連結累計期間まで減収で推移したものの、第3四半期連結会計期間は大幅に伸長し、僅かに減収となりました。利益につきましては、ブランドコミュニケーション事業で第2四半期連結会計期間に顕在化した統合効果が持続・拡大し、PRの提供サービスの高付加価値化と販促施策・商品企画の効率改善が進んだことから、営業利益が大幅に増加しました。

なお、経営の効率化に向けて、2023年7月にビジネスディベロップメント事業に含まれていた㈱アジャイルの株式を譲渡したほか、連結子会社が保有する上場株式の縮減を進め、子会社株式売却益37百万円及び投資有価証券売却益45百万円を特別利益に計上する一方、出資金評価損101百万円及び投資有価証券評価損55百万円を特別損失に計上しましたが、営業利益の増加に伴い、営業利益以下の各段階で増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	13,663百万円	（前年同期比	2.5%減）
営業利益	1,505百万円	（前年同期比	34.3%増）
経常利益	1,535百万円	（前年同期比	32.5%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	959百万円	（前年同期比	42.4%増）

当社グループは、連結子会社3社間の吸収合併を契機に、基幹事業を「ブランドコミュニケーション事業」として再定義し、資源配分に係る意思決定、業績管理及び統合効果等の評価を適切に行うため、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）」に記載の通り、報告セグメントの変更等を行っております。以下の前年同期比につきましては、前年実績を変更後の新セグメントに組み替えて表示しております。

セグメント別の構成及び業績は次の通りです。

構成子会社	セグメント変更前	セグメント変更後
㈱サニーサイドアップ(コンテンツ関連部門を除く)	①マーケティング&コミュニケーション事業	①ブランドコミュニケーション事業
㈱クムナムエンターテインメント		
㈱ステディスタディ		
㈱スクランブル(注1)		
㈱エアサイド		
㈱ワイズインテグレーション(注2)	②セールスアクティベーション事業	
㈱サニーサイドアップ(コンテンツ関連部門)		
㈱フライパン	③フードブランディング事業	②フードブランディング事業
SUNNY SIDE UP KOREA, INC		
㈱グッドアンドカンパニー	④ビジネスディベロップメント事業	③ビジネスディベロップメント事業
㈱サニーサイドエックス(注3)		

- (注) 1. 2023年7月1日を効力発生日として、㈱サニーサイドアップに吸収合併しております。
 2. 2023年9月1日を効力発生日として、㈱サニーサイドアップに吸収合併しております。
 3. 2023年7月1日付で㈱サニーサイドアップパートナーズより商号変更しております。

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失

(単位：百万円)

		2023年6月期 第3四半期累計		2024年6月期 第3四半期累計	
セグメント変更前		(注)		セグメント変更後	
①マーケティング&コミュニケーション事業	売上高	5,645	11,481	11,113	売上高 ①ブランド コミュニケーション事業
	利益	1,468			
②セールスアクティベーション事業	売上高	5,836	1,773	2,223	利益
	利益	308			
③フードブランディング事業	売上高	2,104	2,104	2,416	売上高 ②フードブランディング事業
	利益	50			
④ビジネスディベロップメント事業	売上高	421	421	133	売上高 ③ビジネス ディベロップメント事業
	利益	46			

(注) 前第3四半期連結累計期間の実績を変更後のセグメントに組み替えて表示しております。

①ブランドコミュニケーション事業

従来のマーケティング&コミュニケーション事業とセールスアクティベーション事業を統合した当事業では、PRを軸に、プロモーション、ブランディング、スポーツマーケティング等、マーケティングやコミュニケーションに係る多様なソリューションを提供するとともに、店頭等の消費者とのコンタクトポイントで購買・成約の意思決定を促すためのソリューションを提供しております。

㈱サニーサイドアップでは、クライアントニーズにきめ細かく対応した企画力とメディアリレーションを強みとし、特定の業種に限定することなく、国内外のクライアントの商品・サービス、施設等のPRを手掛けております。同社では、吸収合併を通じて、㈱スクランブルが展開していたインフルエンサーとSNSを組み合わせたマーケティングサービスを取り込み、提供ソリューションを拡充しています。また、コンテンツ関連部門では、タレントやキャラクター等のIP(知的財産)を活用したコンテンツ制作及び販促施策を手掛けており、㈱ワイズインテグレーションの商品キャンペーンの企画及びグッズ制作、雑貨の商品企画やOEMの機能・ノウハウを移管しております。

㈱クムナムエンターテインメントでは、強力なキャスティングネットワークと企画力を強みとして、日本及び韓国の人気アーティスト、有名プロスポーツ選手等を起用したブランディングやコンテンツ開発を手掛けております。㈱エアサイドでは、高いクリエイティビティとエンターテインメント業界とのリレーションを武器に、人気アーティストを起用したCMをメディアに紹介するPR等を手掛けています。㈱ステディスタディでは、ファッション・ライフスタイルブランドに関する専門的な知見やキャスティング力を活用し、PRやイベントの企画・制作・運営、コンサルティングを提供しています。

当第3四半期連結累計期間におきましては、㈱サニーサイドアップを中心にクライアントリレーションの強化や

サービスの高付加価値化に取り組みました。リテナー契約の獲得・更新に注力するとともに、クロスセルやアップセルの提案を行った結果、インフルエンサーマーケティングや商品企画の追加受注に繋がり、クライアント当たりの売上高が増加しました。また、生産性の改善に向けて、PRでは低収益案件の見直しや稼働体制の適正化を図り、販促施策・商品企画については原価率の低減に向けてマネジメントを強化しました。さらに、教育投資を拡充し、経営陣や外部専門家を講師に招聘した実践的な教育プログラム「SUNNY UNIVERSITY」には、延べ1,070名が参加しました。

当事業では、第1四半期連結会計期間に販促施策・商品企画が大幅減収となったものの、PRの順調な受注が続いたほか、第3四半期連結会計期間に大型のキャスティングや販促施策・商品企画の受注が加わり、小幅減収となりました。利益につきましては、PRと販促施策・商品企画の双方の改善が寄与し、増益となりました。

これらの結果、当事業の当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	11,113百万円	(前年同期比 3.2%減)
セグメント利益	2,223百万円	(前年同期比 25.4%増)

②フードブランディング事業

当事業では、オーストラリア・シドニー発のオールデイダイニング「bills」の国内におけるブランディング、ライセンシングビジネス及び韓国におけるライセンス管理と店舗運営を行っております。

国内で直営7店舗、韓国で直営2店舗を展開する当事業では、当第3四半期連結累計期間に出退店はないものの、ブランド価値の更なる向上を図るため、店舗改装を進め、七里ヶ浜店（神奈川県鎌倉市）が17日間の休業を経て2023年12月に、表参道店（東京都渋谷区）が24日間の休業を経て2024年3月にリニューアルオープンしました。

当事業では、国内を中心に売上が拡大し、2022年12月にリニューアルオープンした横浜赤レンガ倉庫店（神奈川県横浜市中区）のほか、銀座店、インバウンド需要を取り込んだ大阪店及び福岡店が好調に推移しました。また、年2回のメニュー改編を通じて新たなテーマを訴求し、集客と客単価の上昇に繋がりました。

これらの結果、当事業の当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	2,416百万円	(前年同期比 14.8%増)
セグメント利益	78百万円	(前年同期比 55.9%増)

③ビジネスディベロップメント事業

当事業は、新規事業の開発・創出を通じてグループの事業領域を拡充する位置づけにあり、セグメント特性上、費用が先行する傾向にあります。

㈱グッドアンドカンパニーでは主に、ウェルビーイングや女性活躍推進等、社会課題の解決に資するコミュニケーションサービスを提供しております。㈱サニーサイドエクスでは、商業施設及び建物の企画、開発、管理運営等に加え、2023年9月に設置したXRスタジオで最先端のデジタル技術を駆使したXR映像を制作し、新たなソリューションの提供を開始しました。同社では、ブランドコミュニケーション事業と連携して企画提案を行うなど、営業体制を強化してきましたが、XR技術の活用を企業向けのマーケティングソリューションだけでなく、一般顧客向けのエンターテインメント領域にも広げるため、2024年3月に㈱STPR（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：柏原真人）とスタジオ機能の移管を含む戦略的な提携について合意しました。

当事業では、㈱アジャイルが連結対象外となったことに加えて、XR事業の立ち上げ費用が影響し、事業全体で減収減益となりました。

これらの結果、当事業の当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	133百万円	(前年同期比 68.2%減)
セグメント損失	△2百万円	(前年同期実績 46百万円)

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べて430百万円減少し、8,164百万円となりました。資産の内訳につきましては、流動資産が118百万円の減少により6,504百万円に、固定資産が312百万円の減少により1,660百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が308百万円増加したものの、売掛金が259百万円、未成業務支出金が242百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産減少の主な要因は、投資その他の資産合計が324百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べて1,000百万円減少し、3,866百万円となりました。負債の内訳につきましては、流動負債が918百万円の減少により3,182百万円に、固定負債が82百万円の減少により683百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、買掛金が247百万円、短期借入金350百万円

円百万円、1年内返済予定の長期借入金が53百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債減少の主な要因は、長期借入金が78百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べて569百万円増加し、4,298百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は50.7%となり、前連結会計年度末の41.4%より上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の連結業績予想につきましては、2023年8月14日に公表しました予想値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,089,935	3,398,654
受取手形	22,093	3,254
売掛金	2,620,516	2,360,833
商品及び製品	4,573	6,219
未成業務支出金	551,986	309,024
原材料及び貯蔵品	25,083	23,841
その他	314,635	408,547
貸倒引当金	△6,243	△6,271
流動資産合計	6,622,581	6,504,103
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	362,309	409,893
有形固定資産合計	362,309	409,893
無形固定資産		
のれん	276,121	245,057
その他	24,231	19,263
無形固定資産合計	300,352	264,320
投資その他の資産		
その他	1,355,869	1,040,344
貸倒引当金	△45,713	△54,243
投資その他の資産合計	1,310,155	986,100
固定資産合計	1,972,817	1,660,314
資産合計	8,595,398	8,164,417
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,989,016	1,741,312
短期借入金	586,000	236,000
1年内返済予定の長期借入金	181,491	127,842
未払法人税等	181,173	208,887
賞与引当金	-	111,000
役員賞与引当金	153,255	-
契約負債	212,403	310,975
その他	797,646	446,868
流動負債合計	4,100,987	3,182,886
固定負債		
長期借入金	411,109	332,637
資産除去債務	99,107	100,322
その他	255,919	250,308
固定負債合計	766,136	683,268
負債合計	4,867,123	3,866,154

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,764	550,458
資本剰余金	696,127	698,821
利益剰余金	2,247,658	2,908,395
自己株式	△130,456	△130,456
株主資本合計	3,361,094	4,027,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,920	140,530
繰延ヘッジ損益	164	288
為替換算調整勘定	△22,960	△26,655
その他の包括利益累計額合計	200,124	114,163
新株予約権	143,559	129,109
非支配株主持分	23,496	27,771
純資産合計	3,728,275	4,298,263
負債純資産合計	8,595,398	8,164,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	14,007,300	13,663,973
売上原価	10,972,099	10,359,213
売上総利益	3,035,201	3,304,759
販売費及び一般管理費	1,914,781	1,799,646
営業利益	1,120,420	1,505,113
営業外収益		
受取利息	117	133
受取配当金	1,549	-
持分法による投資利益	-	1,452
為替差益	-	28,965
業務受託手数料	15,072	14,999
助成金収入	59,706	-
その他	8,974	9,971
営業外収益合計	85,421	55,523
営業外費用		
支払利息	6,673	3,986
匿名組合損益分配額	-	2,919
持分法による投資損失	5,886	-
為替差損	21,011	-
貸倒引当金繰入額	-	7,600
過年度関税等	-	9,535
その他	13,316	1,505
営業外費用合計	46,889	25,548
経常利益	1,158,952	1,535,088
特別利益		
固定資産売却益	1,636	35
子会社株式売却益	-	37,880
投資有価証券売却益	-	45,828
新株予約権戻入益	-	9,957
特別利益合計	1,636	93,700
特別損失		
固定資産除却損	0	2,915
固定資産売却損	369	-
子会社出資金売却損	29,342	-
関係会社株式売却損	8,647	-
出資金評価損	34,519	101,171
投資有価証券評価損	-	55,349
特別損失合計	72,878	159,437
税金等調整前四半期純利益	1,087,710	1,469,352
法人税等	420,835	506,028
四半期純利益	666,875	963,323
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,609	4,275
親会社株主に帰属する四半期純利益	673,485	959,048

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	666,875	963,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94,810	△82,390
繰延ヘッジ損益	719	123
為替換算調整勘定	50,740	△3,694
その他の包括利益合計	146,271	△85,961
四半期包括利益	813,146	877,362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	819,756	873,086
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,609	4,275

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社サニーサイドエックスが保有する株式会社アジャイルの全株式を譲渡したことに伴い、株式会社アジャイルを連結の範囲から除外しております。

また、第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社ワイズインテグレーション及び株式会社スクランブルは、当社の連結子会社である株式会社サニーサイドアップを吸収合併存続会社とする吸収合併が行われたことにより消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランドコミュニケーション事業	フードブランディング事業	ビジネスディベロップメント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,481,943	2,104,044	421,312	14,007,300	-	14,007,300
セグメント間の内部売上高又は振替高	73,254	2,333	18,690	94,277	△94,277	-
計	11,555,197	2,106,378	440,002	14,101,578	△94,277	14,007,300
セグメント利益	1,773,029	50,660	46,458	1,870,148	△749,728	1,120,420

(注) 1. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△25,189
全社費用(※)	△724,538
合計	△749,728

(※) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2023年7月1日 至2024年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランドコミュニケーション事業	フードブランディング事業	ビジネスデベロップメント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,113,698	2,416,416	133,858	13,663,973	-	13,663,973
セグメント間の内部売上高又は振替高	31,477	2,779	1,880	36,137	△36,137	-
計	11,145,175	2,419,196	135,738	13,700,110	△36,137	13,663,973
セグメント利益又は損失(△)	2,223,295	78,973	△2,123	2,300,145	△795,032	1,505,113

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△18,265
全社費用(※)	△776,766
合計	△795,032

(※) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは2023年5月19日に公表した中長期経営方針「成長に向けた戦略方針」において、基幹事業を「ブランドコミュニケーション事業」と再定義しております。第1四半期連結会計期間より、㈱サニーサイドアップを存続会社とする連結子会社間の吸収合併を契機に、経営管理区分の見直しを行い、従来、「マーケティング&コミュニケーション事業」及び「セールスアクティベーション事業」に区分されていた事業を「ブランドコミュニケーション事業」に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づいて作成したものを開示しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自2022年7月1日 至2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	ブランドコミュニケーション事業	フードブランディング事業	ビジネスディベロップメント事業	
日本	11,021,197	1,686,188	409,612	13,116,998
アジア	215,457	417,855	11,700	645,013
米国	174,186	—	—	174,186
欧州	71,102	—	—	71,102
顧客との契約から生じる収益	11,481,943	2,104,044	421,312	14,007,300
外部顧客への売上高	11,481,943	2,104,044	421,312	14,007,300

当第3四半期連結累計期間(自2023年7月1日 至2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	ブランドコミュニケーション事業	フードブランディング事業	ビジネスディベロップメント事業	
日本	10,443,779	1,988,513	133,858	12,566,151
アジア	116,540	427,903	—	544,444
米国	442,610	—	—	442,610
欧州	110,766	—	—	110,766
顧客との契約から生じる収益	11,113,698	2,416,416	133,858	13,663,973
外部顧客への売上高	11,113,698	2,416,416	133,858	13,663,973

(注) 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。なお、前第3四半期連結累計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づいて作成したものを開示しております。